

# 仙台市立高砂中学校

## 学校紹介～震災から続く花の縁～

高砂中学校は、仙台市東部の田園地帯に位置します。東日本大震災の被災校であり、震災から13年経った今も、校舎や生徒の生活の中に、その面影を残しています。校舎二階には「防災展示室」や「中野小の部屋」があり、被災当時の写真や全国からいただいた支援の品が展示されています。

校庭にあるタカトオコヒガンザクラは、震災の1年後に長野県伊那市東部中学校から贈られたものです。この桜の木は復興の象徴であり、東部中との絆でもあり、高砂中生がとても大事にしてきたものです。11月には東部中の生徒と共に作成した「さくらソング」を歌い、今も、交流を続けています。さらに、毎年7月と12月には、東京のよこしま園芸様の支援を受けて、花植え活動を続けてきました。今年も、高砂中の花壇は、色とりどりの花で埋め尽くされています。



校長 星 隆一



PTA 会長中澤宏顕



## PTA 活動の紹介

### 高中祭にて「高中魂」グッズの販売！

高中生が代々大事に受け継いでいる「高中魂」は、東日本大震災による被害を乗り越えるための合言葉となってきました。PTAでは、「高中魂」グッズを販売し、収益金を生徒の活動に役立てていきます。昨年度はオリジナルタオル

の販売でしたが、今年度はTシャツの販売をしました。生徒、教職員、保護者に大好評で皆が愛用しています！



## 高砂中学校区 お気に入りの景色

中学校のすぐ横を流れる、七北川沿いの桜並木を紹介します。春になると土手に満開の桜が並び、散歩やランニングの人たちを楽しませています。高砂の美味しいお団子屋さんのお団子とおいなりさんを買って、お花見するのが毎年の楽しみとなっています。

